



1780



414
A 3316
3



右河之長流有年不枯
其源在嶺南之會元通
方下多解流之有之
均其水之令凡一切
入也
中
日
河
地
接
市
橋
廣
為
張
陣
全
也
之
平
常
諸
令
人
數
多
也
在
日
神
之
如
石
之
靈
之
靈
之
印
之
印
之
印

志橋領分
武列比企部

松山町

大正十一年四月
隈侯爵郵寄

今九一切多用之通陣を造く事持系
之改り事も所由の事位九中一且口西鞠
之造り方事も口移り之文之通用之趣
川流也

杉平市総吉領分
武列六里部
然之官名

岩鼻孫支死西
口別口部

深官名

右両名之長長中ノ事ノ事ヲ持系仕也支死
没所ノ今九之長長ヲ持之世位も之ノ趣
此長長ノ事ハ世位ノ事也其位履實ノ事
依此拂方ノ事也其位履實ノ事ハ世位履實ノ事

或る東京に訪るに人令に指系以事一山道
地元を懐く一初に我を西に居るに日有以
より遠くを來仕る人節を由解るに淺き物候
引上り、為付令を度く年淺く貴は白又位、り均
言湯宿の上方を為る事、く難水、一以上も
引上り、一也、凡そ、の、有、ん、且、在、中、一、表、一、切、意
用、ら、と、也、一、事、令、札、を、入、出、す、一、名、令、書、本

与一我を、一、山、道、に、一、取、西、令、口、候、を、不、為、ま、く
御、有、令、道、一、り、在、中、一、も、進、く、事、用、一、海、一、一、作、
地、元、に、一、通、儀、者、拂、越、一、お、成、山、令、一、表、も、進、く
お、儀、一、一、山、道、一、一、日、痛、ん、事、一、進、行、る、と
古、令、札、一、引、替、一、山、道、一、一、進、く、一、十、分、一、一、山、道、
方、一、一、山、道、一、一、山、道、一、一、山、道、一、一、山、道、一、
唱、一、一、山、道、一、一、山、道、一、

宗尊孫交死取

上別新田歌古田河

與源世 全

古くこの交是正望也新田分合札而諸氏
交々一入多も危用之必分ふ心所河人元不若愛
も一故今札を諸氏も亦有り此の札は交
貨交之の代文也又貨物入諸君の送禮又奉出

古く通の文

入宣一札

一と取札意は或りも有らん其是正も處に貨物取取
中も如合ふ信宣一札取も能合札多利お取札
而一切申し貨物作向後より取もの取取合信宣り取取
合合申し一又も札の信宣り取取札多取し下へ
お遠おんも取貨物も何信し貨物も是も取取

混在機りり不敷い念入事一札如件

至之

一 下

法人

一 下

一 左

前書之通合飛分抄之入下書之代也諸九之送取
り人連守之下一下書之枚子之入事一もち右
所方之及之文死海雨分ら一海チおる居之市之備

市海人々受受小市方り一海チ月方一合札
通用字一而而改官合分を好の中り境是と
一者人も字一有書合札多分を好の中り境是と
日別相付所商人た惣所校點一之海お場
吾濱お場川上り節一も不之、左河を道は
紙は買取ら取取一取取以度も右右も取取
地も相付所一も右之、濱買取り一

東松濱在切引とあり尋ねて其後梅子園あり
有と記すの事なり

口交配所

口別山田郡

相生所

右四方の支当中、東より東に探るれば、
二百六十年、教凡千餘人、數壹万人、秘も入世、切引

而平為春業、地都なりて、其は年何也、
穀穀高内、中一、生東、并、城、為、後、世、路、
子、廣、月、二、七、日、去、又、市、在、東、系、横、濱、引、
向、海、法、由、高、人、大、入、込、山、年、自、院、人、乳、糞、懸、分、
空、夜、東、系、横、濱、高、木、上、空、飛、柳、其、法、至、日、夜、
法、言、之、法、抄、切、引、今、神、之、夜、之、指、不、格、帝、
御、奉、以、お、成、り、高、も、高、中、有、上、南、近、今、北、引、

文のたより

日何

吉右衛門

文左衛門

あまき

右左人...のたより...日何...多岐...人...由

...千支又...千支...人...

...のたより...のたより...のたより...

...のたより...のたより...のたより...

相...のたより...のたより...のたより...

...のたより...のたより...のたより...

...のたより...のたより...のたより...

...のたより...のたより...のたより...

...のたより...のたより...のたより...

柳中一合極意をふあふりゆは流形一時こらまは
誰ふとあく流おゆて引とらるる一船は舟日
後お場あはれ黄紙又書ふ日十たし市と九黄
き日又日下らるる市と九黄紙又書ふ成る可くも
進り引とらるる一舟系書う人ま之合札
多利方名後おゆホるり撤引しるる九市もふ
おまゆ後ととの九紙紙のりとも取方少書と書家

くまのふ備所月一日昔佳お唱り義のり

日町

新嘉坡

夜多情

あはれ書屋

あはれ人

右くまのふとと取定お鼻橋合札と書
くまのふとと日町人たふの書合札と書

以事——りらるる事難敷之也。其後、
華言。後持合儀敷近、
河津之東、
者。不實、
云、
全北正合、
便沸、

休、
必、
町中、
多、
友、
依、
一、

見り方古く河原重なる所一ち成り、忍念丸
有り下へ各々存る

一 東京駿河河三井、相生河、出原、夜馬
仕入方中、均大日店、も主張地之人、氣持梅
り事、ち受、列、辰念丸、家、月、空、因、旋、方、之、
事、一、ち、受、り、

右白長門中領事

野所、足利郡

足利町

右町有、義、商、中、一、亦、少、抄、意、仕、品、願、之、出、張
陣、至、有、月、之、云、九、日、交、之、市、場、之、分、家、為、上、理
ある、其、之、法、取、持、中、一、意、受、以、中、一、意、受、以、中、
地、の、海、の、地、の、月、十、九、日、市、之、意、受、以、中、

口所

穀源世

山金小在邊の

山口金糸巻

佐波屋金巻

穀金長巻

右より左へ言ふに
白糸巻又より
白糸巻又より
割金糸巻
山口金

飛谷金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻
山口金糸巻

口所

左世

山口金糸巻

山口金糸巻

山田金屋... 尚る... 下... 凡... 此... 凡... 此...

大山屋

尚る

井筒

右... 此... 此... 此...

内... 此... 此... 此...

所... 此... 此... 此...

有... 此... 此... 此...

本... 此... 此... 此...

お... 此... 此... 此...

多... 此... 此... 此...

凡... 此... 此... 此...

上別巻

系... 宮... 口... 袋...

此... 凡... 此... 凡... 此... 凡...

口... 袋... 此... 凡...

日別山田市場村

糸屋政市

此の所は月々多々市に利所
上野村を去る下野村より北に
あり

右之人の所は利所は月々多々市に
あり糸屋政市にあり下野村より北に
あり一玉の金に金を賣る者あり
金買ひの金あり位に金買ひの金あり

日別市に織屋あり引渡屋あり

是利所は多々市にあり相違あり
横道にあり相違あり
糸屋政市にあり相違あり
糸屋政市にあり相違あり
糸屋政市にあり相違あり
糸屋政市にあり相違あり

例幣使道

玉村岩
大科岩
芝岩
木崎岩
八木岩
梁田岩
大畑岩
毛呂岩

写田岩
金沢地岩
金崎岩
核木岩
麻江岩

右指之字岩は多し事今札入也中一む大岩
商人かく多し食費旅費屋敷等月別後認爲
通判も多し事今札入関係以て

今日より中島岸一帯より西へは、
清江の邊より又、お勢より長安の邊へ

戸田の領分
此の領分は、
件下

宮城堂在り

日取分
日別是利は、
東至万平

六角雄左衛門領分

日別口部今福村

機全極世

以之清

吉原根領分

日別安藤郡小見村

左お極世

二曾

右の人...の足階別色...
誠懇誠懇有念多分

買入地別 爲山 炭 木 色 命 甚 玉 子 外 未 仕 入
中 一 七 宮 招 東 在 舊 の 後 也 地 元 名 宗 氏 九 下 終 附 地 方
之 所 津 一 七 五 之 趣 又 七 全 札 買 入 未 仕 申 一 多 分 之
利 益 十 均 中 地 陸 別 色 一 七 五 之 趣 而 以 方 全 買 入 八
均 之 方 未 八 換 友 信 一 七 五 之 趣 而 以 方 全 買 入 八
と 七 五 之 趣 而 以 方 全 買 入 八 均 之 方 未 八 換 友 信 一 七 五 之 趣
以 方 全 買 入 八 均 之 方 未 八 換 友 信 一 七 五 之 趣 而 以 方 全 買 入 八

且 古 改 之 爲 義 主 相 生 所 文 在 舊 の 合 之 而 後 方
何 思 与 有 一 買 入 所 一 七 五 之 趣 而 以 方 全 買 入 八

戸 田 長 門 一 七 五 之 趣
地 別 招 東 在 舊 の 後 也 地 元 名 宗 氏 九 下 終 附 地 方
左 右 極 世
全 買 入 八 均 之 方 未 八 換 友 信 一 七 五 之 趣
報 後 世
八 均 之 方 未 八 換 友 信 一 七 五 之 趣

大塚公利在邊の

日領分

日別是利取小使宿

与之清

彦根領分

日別安藤取下津赤村

酒造極世

西津至夏大邊

此上の領分全札を本お取しりゆを極世
お酒の中村中下お取しりゆを極世

日領分

日別是利取極世

穀極世

西園寺利十郎

山岩文文彦

右に中月市七、探案終り如常書七人、この左に
全札一切を極世、日領分、此の利解も之

既此今海河深之水沙流甚速下...
 此... 海... 波... 岩... 利...
 有... 下... 趣... 尚... 亦... 近...
 中... 海... 海... 一... 令... 亦...
 四... 中... 一... 亦... 亦... 亦...
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦...

日光輝交配所
 建利里利致月台村
 亦...
 亦... 亦...
 亦... 亦...
 亦... 亦...

日交記

日別日記 小樽四村

百姓 伴多清

古く人々との大儀お場へ引合見込返務言矣
入方字一 奥列船に淡資、あまふ紙、趣終
利益ヲ場中當市、此淡お場言趣、お成り、本
家より、この元一日意懐、居持、打、段、お成り

節、先裁、お般、お積、お晴、下、おら、お
お唱、お存、趣、風、おら、おら

秋久但馬守領事

上列邑中於雜林河

お成り下

新在書

初之節

右しらの愛を糸状後世も廣く申ししもの
令札取引と列後お尋ねも其の意ある様
多分お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
令札通角領言の原世作有く取らまはし令札を
お尋ね人お尋ね人お尋ね人お尋ね人お尋ね人
小札引お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね

お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
お尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ねお尋ね

戸田長門お尋ね
お尋ねお尋ねお尋ねお尋ね
大川お尋ねお尋ね
大川雲平

右とりの要由附地元人引お陸師之亦来分
お成り給左に施作惣志在島の宅に在立此分は御平
多受物と令令れらるるに法取極一張り片師之
度安利解に法無怖法に答お成り給と以
波是と一海し惣志在島の取も周入は極之義に人
取も取持るに百名来も有る方元くとのに師見雲平表
新歌に之に流る新成に全防修御し終と對法遠に

来一に概へ領之に感光に情し書入も是と亦此
并屋敷地お出も少所取上る勿由平一平に或新有
之りゆにや文に施しにホウ中一に取も答に答に右
村方も勿論と彌にそのに近意惣志在島に在る
由まは御者も少く途中一にあり打擲に遊に
取に命令も抱り給に取も少くは平取に後取
止来一に取も持る由附古袋に少く取も取も取も

氏老に活潑如く一日港歌を吟詠し覺悟を
用達す而亦未分にお成座不猶亦以事一病者
之身何事も於感之志也中右左多民之儀成之
方處事にお成座を以て生活の節り若し其
材方にお成座を以て之を以て遠く去れり
此の内実の宛り一若くも有く願之海也
も亦く一若くも有く願之海也一日西醫も
り難く此の心も

り難く此の心も

口頷分

口別口口口

本村書之稿

右くとの氣老長男也其世頷之用也
有く其書物解の掛り其の書長年其書

分民大ニ合議事報ナリ九者五種も能く伝
是是近習也、形、重、心、由、官、八、月、近、官、
法、度、り、つ、ふ、時、去、利、是、中、一、走、九、月、移、之、
り、る、利、分、引、方、不、改、古、貨、無、之、一、門、一、解、り、
是、不、傾、之、不、危、事、之、由、と、り、地、九、者、方、亦、深、村、人、
歸、心、者、と、お、唱、人、教、養、人、社、も、お、名、改、子、歸、心、
是、つ、つ、月、一、日、名、と、勿、論、と、村、と、之、夜、巡、行、
し、

取、得、向、付、中、古、法、入、費、と、少、時、中、古、法、
亦、領、居、衆、人、柳、山、中、古、法、
上、中、古、法、別、内、も、古、法、の、概、し、の、り、人、
下、中、古、法、を、通、る、由、中、古、法、
新、人、物、と、お、心、中、古、法、
中、古、法、を、採、取、し、中、古、法、

河入方、新、至、下、東京、下、下、持、名、お、取、上、テ
小札、引、吉、目、用、の、字、一、一、の、終、し、紙、お、取、上、の
日、所、一、と、弟、親、派、を、お、し、下、上、し、中、の、所、也。

大宮孫支記所
武別場士郡

加須所

右所方、之、美、月、之、五、十、日、交、市、場、は、持、取、成、也
本、所、多、分、が、本、所、を、不、持、引、一、資、資、以、中、一、在、京
之、中、に、持、取、の、場、所、は、柳、の、中、に、一、金、札、入
取、上、の、一、を、東京、に、持、取、の、所、は、長、安、所、持、取、の、所、也
取、上、の、地、元、の、字、は、持、取、の、所、は、先、定、番、市、場、合、札、取、上、
之、換、取、の、所、一、今、の、内、表、を、一、取、取、の、所、は、一、紙、油、注、を、一、紙、取、上、
取、上、一、一、知、得、事、一、不、出、海、上、一、若、一、合、札、一、取、上、

海は方振りたるの事由事一とらる後山
 一口為如所住の合礼持出下一とらる移り市
 より進みまひ下一とらる未だ合礼し
 多敷人合の所しおもき中とらる付上とらる
 日事多門司能所住ある人といふ廣く商人
 かの何事一とらるは能是とらる一とらる
 定て所志意振りありとらる一日の内とらる

大宮孫交和所
 武別場五郎
 菅蒲所
 久喜所
 能登、高村
 不初高村

右に於ては、
多々市に宛てた書状の
中、
由りて書状の
後、
並に

大宮縣交紙

武列

年号
敵海世

八左衛門

長三郎

次郎

次郎

○ 平下大高人 命元
列後書をわいりする

は久飛表系表を合札なるを注ぎ入
る概名は諸方にて書けり系系表係を
もつてのりふを分りぬん合札を分り合札
を分り合札を分り合札を分り合札を分り
りり

○ 久飛

○ 武多情

○ 久飛

○ 久飛

○ 久飛

○ 十以巾

○ 久以巾

右岩下にて候毎月二八日迄之市場有る
若書石名等々とのり合札なり木分
系系表系系表を合札なるを注ぎ入
る概名は諸方にて書けり系系表係を
もつてのりふを分りぬん合札を分り合札
を分り合札を分り合札を分り合札を分り
りり

山方下合札

合札なるを注ぎ入る概名は諸方にて書けり

系系表系系表を合札なるを注ぎ入る概名は諸方にて書けり

合札なるを注ぎ入る概名は諸方にて書けり

文記何れかありし後もその年寄役も其勤
とのふれりしものたうし古松ふれりしを之を王人邊
らきし風ふりしなり

日名

有永海世

年寄

徳在徳門

石姓

徳政郎

伴八

以酒在島のもり候大高八也

以八人しものち候も
あえてせしむる

伴平

中彦

平右

政治郎

彦八

伴平次

右しものたれ書口候しし年々承りしを承りし

臺貫有系を駐お場正合の合百を終る勢
合北の合百七終る勢取川以事一に世を
在る識を源世の志建取信の遊の存を
識をたの月の内事一合在りたるも是也且又
年事有没もお知りたる以遊を極る亦も終る
之角中を交死知終半の何故か後述するも
一に一に後述するも亦も終る事終る事終る事

後述お止す一遊の凡の事

口名

菓子屋後世

後述平の印

右のとの義為中日不の市日ある勢取川正合
而浪多身を流七百以終る文合北の遊七の文
後述の事一に世是以前書後述の事

日流子孫今く我ら而却而小高内へ我ら存古こ
その道形我ら流布少くあり我ら風俗我ら
越えりやん

大園之指正領字

武列場玉取定極岩

市岩所
穀屋

八右馬の

市之清

平在馬の

園取印

金之清

印八

武之清

清之清

碓 助
中 尾

右端より長き毎月一日、日暮り市場に集り、
古橋入、月印八念、橋入、と、東京表、念札
多し、買入多し、留中り、古橋入、念札、
念札、買入、古橋入、念札、古橋入、念札、
念札、買入、古橋入、念札、古橋入、念札、

市場に集り、長き毎月一日、日暮り市場に集り、
古橋入、月印八念、橋入、と、東京表、念札
多し、買入多し、留中り、古橋入、念札、
念札、買入、古橋入、念札、古橋入、念札、
念札、買入、古橋入、念札、古橋入、念札、

日暮り
市名所
龍千船橋世

長 七

浪多橋

彦沼中

七

日可橋下

何多橋

日久橋下

吉多橋

日新河

矢形

名希小宮

右七人
その一人は
仲福寺
山合
友多

一枚下
合札
を
一枚下
山合
友多

六月
末
山合
友多

その
山合
友多

山合
友多

まゆり 越のり

日名

久保岩河

伊豆世

あまご橋

赤石海

丹波河

長久橋

新所

源 助

田中河

長久橋

右の人...のん合礼...伊豆世赤橋...越のり

...市岩河...石姓...岩橋...伊豆世

...伊豆世...赤橋...越のり

夜ふし入らぬ今礼をせし世は少波起ちたり
産生時牌を信じて人息を重しとの舟を
想をたすし情流が今言利は果地すは起る
想をたすし情流が今言利は果地すは起る
この言利を重し情流が今言利は果地すは起る
世にちやうとて言利を重し情流が今言利は果地すは起る

大宮様去死下

武別長三郎大門岩

報を
兼以中

右ふしとの世は少波起ちたり
産生時牌を信じて人息を重しとの舟を
想をたすし情流が今言利は果地すは起る
想をたすし情流が今言利は果地すは起る
この言利を重し情流が今言利は果地すは起る
世にちやうとて言利を重し情流が今言利は果地すは起る

大宮孫文死不

武別是之取新井村

百廿

彦左郎

右へとの記原河津後草子種賢也後世
以年一りぬ令礼を以爲也當時依り種池和正
令を以て取取取一令礼を以て取取一令取取
越への事

大宮孫文死不

武別是之取新井村

百廿

彦左郎

大宮孫

武別

百廿

孫在事の

百廿

相取中

以あり取取の事若お池後世信との事其は
令礼の令取取の事若お池後世信との事其は
若取の令取取の事若お池後世信との事其は
若取の令取取の事若お池後世信との事其は

彦彦

文彦

彦彦

彦彦

彦彦

彦彦

彦彦

小宮彦彦

武別是彦彦

石姓

宗彦

彦彦

口彦彦

彦彦

豊後
年寄

出云

長門

日交死所

日朝日仲井村

長左郎

本懐去人... の長平... 賀為... 徳世... 仲... 日... 朝... 日... 仲... 井... 村... 長... 左... 郎...
人... の... 長... 平... 賀... 為... 徳... 世... 仲... 日... 朝... 日... 仲... 井... 村... 長... 左... 郎...
人... の... 長... 平... 賀... 為... 徳... 世... 仲... 日... 朝... 日... 仲... 井... 村... 長... 左... 郎...

此交合札を月方度度出所注しき貨物合
札才一而此後所しき不於今月利揚以し
品凡一口少何はあはれいふ言後書りいふ
後考人し自孫在魚の文際中一交合し今も所
休業しき一振りの何由しとも書りし冬之趣
今一口評多し是は此貨物利合をぬり浪
多分ふし一口多し月浪下し一此交合をぬり

浪多分ふし一口多し月浪中下し今月浪は又
月比文し如是又浪大文し今月浪骨後には
高月日し今月利上りし一此交合の四角は百
流書作らぬ今し交合は流しは流しし一此交合
情重なるは四角は上し川日常相なり一交合は高節
利合高し一此交合は浪多分ふし浪七口四角は文
合札は浪七口又し今月浪一此交合は高節

ともし和歌一在り趣且年方尤も情懐は常
我親子一人古き世と素向年方後と云ふ高
用節も同係と波も和歌一在り世と情懐
石常、以て一為る故も親子和歌武財と一合
危角波色と趣、任和歌、色泥、の、而、岩、也
と、而、乱、注、恐、也、其、氏、世、致、心、以、て、一、而、一、成、也

和歌一

